

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

地域を育み、大陸をつなぐ
Building Communities, Bridging Continents
国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス



ロータリーを楽しもう
Enjoy Rotary
富津中央RC会長 原田 雅史

2010～2011

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2192 第30回例会 2011. 2. 24 曇・小雨

点 鐘：小野恒靖 副会長

進 行：須藤 隆 SAA

ソング：手に手つないで

会長挨拶

小野恒靖 副会長



原田会長には御尊父ご逝去の為本日は欠席です。代わって私が会長役を務めさせていただきます。

3月19日いとや旅館にて開催された富津市体育協会祝賀会に県功労章受賞で呼ばれました。吉本充氏、石井利夫氏等が出席し盛会でした。

昨日はニュージーランドで大地震があり、大変な様です。8年前に飯倉先生ご夫妻とクライストチャーチに行った事がありますので、よそ事でない感じですが。豪華客船飛鳥Ⅱは23日クライストチャーチ入港を取り止めたそうです。

福島県の広野町に「Jビレッジ」という11面の天然芝ピッチを持ったスポーツ施設がありますが、そこで2月11～13日に行われた小学生女子サッカー

全国大会に、北海道の孫が「釧路リベラルティアー」の一員で出場したので、妻と泊まりがけで応援に行きました。結果は敗者復活戦で2勝2敗でした。

千葉県からは「かずさフラワーズ」が出ていましたが、結果は分かりません。

これは連絡事項ですが、私が世話係になっている家庭集会を3月3日(木)6時からさざ波館で開きます。メンバーは小野、三枝、平川、佐藤、榎本、刈込の6名です。

会長エレクト報告

先月、サンディエゴの国際協議会に出席中の2011-12年度ガバナー・エレクト山田修平さんから、葉書を頂きました。

そこでRI会長エレクトのカルヤン・バネルジー氏より発表された次年度のRIテーマは「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」だそうです。

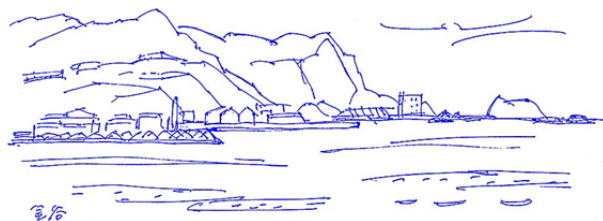
山田修平次期ガバナーのご活躍を期待します。



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度ロゴ

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304
URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~fcr>



幹事報告

平川恵敏 幹事



1. 週報受領

上総RC

2. 会長エレクト研修セミナー開催のご案内

日時:3月27日(日)13:00 登録開始

場所:ホテルニューオータニ幕張

3. 3月ロータリーレート

1ドル=84円

4. 例会場名称変更についてのお知らせ

木更津東RC

旧名称: ホテルロイヤルヒルズ八宝苑

新名称: ロイヤルヒルズ木更津ビューホテル

5. 3クラブ合同例会並びにクラブフォーラム開催について

日時:平成23年3月16日(水)17:30 受付

18:00 点鐘

場所:ホテル喜楽館

委員会報告

部会報告

千葉一利 会員

1. グループ別家庭集会C班の実施日変更

会員の都合により、2月26日(土)の予定を
3月5日(土)に変更します。

2. 国の事業仕分け資料の一部を回覧します。

3. 本日の中国レクは都合により延期します。

新日時は後日発表します。

ロータリー財団

志波 克 委員長

クライストチャーチの大地震につきまして心より御見舞申し上げます。被害の少ない事を祈ります。

「災害は忘れた頃にやってくる」と言いますが、私

達も用心しなければなりません。

忘れていた方もあるかも知れませんが、昨年からお願ひしてあった財団寄付をそろそろ実行して頂く時期になりました。最低標準額12,000円です。

寄付受付表を回覧しますので、希望寄付金額記入欄に金額を書いて下さい。後ほど集金します。

なお、次回ポールハリス・フェローに必要な金額が個別に書いてありますので参考にして下さい。

卓話

河井寛次郎のこと

佐藤信泰 会員



河井寛次郎(1890-1966)は明治から昭和にかけて柳宗悦や濱田庄司等と共に民芸運動を興した一人です。

年頭所感でも少し触れましたが、この1月東京のデパートで河井寛次郎一生命の歓喜一と言う展覧会を観て来ました。河井寛次郎生誕120年記念と言う事で、陶磁器、家具、木彫、陶彫、書、拓本など180余点の作品は圧巻でした。

河井寛次郎の生い立ちは島根県の安来で棟梁の父のもとに生まれ、旧制の中学時代には校友誌への寄稿などで詩人の素養も持ち合わせており、又、芸術に造詣の深い叔父の助言で陶芸の道へ進んだと言われております。この人の物造りの姿勢に共感する所が多いものですから、今回の卓話に取り上げてみる事にしました。

私が河井寛次郎に惹かれる様になりましたのは約20年前に京都東山五条坂にある河井寛次郎記念館を訪れてからの事です。この記念館は三十三間堂や清水寺の近くにありました。

1920年、河井寛次郎30歳の時に清水焼の宗家清水六兵衛の登り窯を譲り受け、住居を構えると同時に結婚もされています。

河井寛次郎が生前暮らしていた住居はさすが民芸運動に取り組んだ人らしく古い民家の佇まいでした。

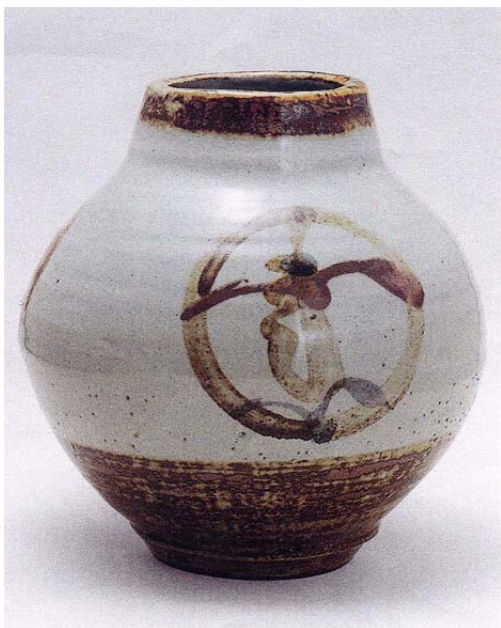
まず記念館入口の扁額(看板)は棟方志功の書に黒田辰秋の彫、一階の囲炉裏の間から二階への箱階段は濱田庄司の作であり、住まいの中に用の美を実践した様子が窺われました。

又、中庭に置かれていた大きな球体の石をみるにつけ私には単なる工房とか仕事場というのではなく、精神修行の空間の様でもありました。

河井寛次郎の技術は現在の東京工業大学窯業科と京都市陶磁器試験場にて科学的基礎などを修得したもので「釉薬の河井」とも呼ばれております。

初期の作品には中国や朝鮮の古陶磁を範とした緻密で技巧的、華麗なものが多く、昭和の初期からは次第に民芸に通ずる作品へと変わってゆきます。壺、碗、片口、土瓶、重筥などです。

民芸の造形美は二つの展覧会で高く評価されています。これは1937年パリ万博でのグランプリと1957年ミラノ・トリエンナーレのグランプリ受賞作品です。



芸術院会員、人間国宝、文化勲章などを辞退し、無位無冠の人として知られる人の作品が高島屋の川勝堅一によって河井寛次郎に断らずに出品された結果の事でした。現在、川勝コレクションとして京都近代美術館に寄贈されている452点の中の2作品です。

親交も深かった川勝に河井は次の言葉を贈っています。

「あなた わたしの蓄は わたし あなたの からだの中で咲く」

このような言葉の中には、自他合一の思想が伝わってきます。又、1953年製作の二つの壺はトリエンナーレの出品作に類似していますが、当時毎日新聞の美術記者であった作家の井上靖氏が収蔵しているようです。

第二次世界大戦後の造形活動は新たな境地を展開してゆきます。自由な造形を生み出す手段として石膏型による成形法(型に泥漿を流し込む方法)を多用して行き、扱う素材も陶の他木や金属へと広がります。

一般的な回転体や正体から抜け出した扁形や新奇な形態の創出に加え、陶で言えば筒描彩釉、泥刷毛目、打薬、貼付文など一つの原型から様々な顔の作品を作り出し、無限の可能性を追求している様に感じられます。



河井寛次郎は河井寛次郎の心の中をのぞけるような言葉、これからの人々に望みを託すような言葉を次のように残しております。

自 警

天地ノ大法ニ随而生カサレマシヨウ

法ヲ畏レ法ヲ尊ビマシヨウ

親和ト敬愛トデ暮シマシヨウ

自他合一ヲ自覚イタシマシヨウ

自分ハ誰ヨリモ未熟デアル事ヲ知りマシヨウ

貧ヲ尊ビ素ニ帰リマシヨウ

誠実一途ヲ念ジマシヨウ

他ヲセメル前ニ自分ヲセメマシヨウ

刻々新シイ自分ニ当面イタシマショウ

限りナイ世恩ニ答ヒマシヨウ

素晴ラシイ自分ヲ見付ケマシヨウ

昭和四十年五月十七日 寛

河井寛次郎記念館発行「河井寛次郎の仕事」より

ニコニコBOX

刈込一弥 親睦担当委員

若鍋武良 小野会員、千葉県体育協会功労章受賞お目出度うございます。

石渡 鋼 妻がニュージーランドから戻りました。

小野恒靖 会長代行をさせて頂いて。

合計 3,000 円

出席報告

大須賀三智男 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	21/20	17	3		85.00%
前回	21/20	18	2		90.00%

近隣クラブ例会日 (通常 12:30 点鐘)

月	君津、袖ヶ浦
火	富津(最終例会 18:30~19:30)
水	木更津東、富津シティ(最終 19:00~20:00)
木	上総、木更津

☆☆☆☆☆ 会員寄稿 ☆☆☆☆☆

歴史知らずが歴史に挑戦(1)

千葉一利

「私の歴史調べ」

今年の年頭所感に歴史を少し勉強したいと書いた。私は歴史に全く弱く特に近・現代史が苦手だ。近代を幕末から第2次世界大戦(太平洋戦争)の終わるまで、現代をそれ以降と仮定する。教わった授業は古代・中世に時間がかかり、幕末からの近現代が軽く流された授業だった様に思う。そんな事はない、お前の不勉強だと言われればそれまでだが——、とにかく幕末以降はさっぱり覚えていない。

現在、尖閣、北方領土、沖縄などの領土権や基地問題、或いは過去の戦争に対する歴史認識など、

史実に基づくより正確な歴史観が求められている。更に歴史は現在から未来を見通すための大切な知識でもある。

この歴史を勉強する方法は色々あろう。直接歴史書を読めば簡単に分かるだろうが、それでは何かつまらない。歴史小説や時代劇からでは量も多く継続性をつかむのが大変だ。

そこで私なりに、歴史調べを考えてみた。例えば近代の最初の「幕末」ということに課題設定する。辞書をひくと、幕末の最初に大きく分けると2説がある事が分かる。大塩平八郎の乱と、ペリーの来航。ペリーの来航説を採るとすると、辞書に日米和親条約が出てくる。更に尊皇攘夷、日米修好通商条約など次々と関連を調べて行く事になる。言葉では知っている出来事も内容など少し詳しく調べると、次第に興味がわき自然に次に進む事が出来る。

こんな形で少し歴史調べをしてみたいと思っている。年寄りの冷や水と言われない様に。

編集室雑記

三井 進 クラブ会報・広報副委員長

私の勤めているマザー牧場は昭和37年(1962年)設立ですから来年が丁度50周年にあたります。それに合わせ昨春、まきばエリアの建物をリニューアルし、12月から2月までの予定でまきばの動物たちがいるエリア(下のエリア)を大改造しています。

現在まきばエリアはクローズで、3月1日オープンの日ですが、残すところ数日と、月内完工予定が危うくなり、社員総動員体制で工事の完工に取り組んでいます。

私も先日から、芝張り、レンガ張り、ペンキ塗りに取り組んでいます(半日やっては腰が痛くなり2日の見学ですが…)。3月1日には、今までとは見違えるような景観を提供できると思います。

菜の花が満開になる頃、皆さんにご披露し、私の張った芝生、レンガ道、ペンキを塗った子ブタスタジウムを見ていただこうと思っています??

